

2026年度 シラバス

科目名	マスター専攻	区分	選択	授業時数	210時間	対象学年	2 年
担当教員	阿部 泉 上田 大野 奥田 尾崎 柏倉 加藤 瓦崎 東野 福森 藤井 吉川	実務経験	有			コース	マスターコース
学修内容	サロンワーク内のカットを中心とした理論および技術の習得 サロン経営学ならびに日本を含む世界経済を学ぶ経済学の知識の習得 サロン経営における実践マーケティングの基礎知識、毛髪化学およびカウンセリング、 ヘアケア剤の知識習得とアイブロー技術の習得、サロン現場で活躍できる人材の創出						
到達目標	カット、カラー、パーマ等サロンワークの技術を使用した自由制作、即役立つ売れるノウハウを身に付ける。 夢・目標を明確にする。ヘアケアマイスタープライマリー合格。						
授業の方法	カット技術を中心としたウィッグおよび人頭を使用した実習を行う 経営学、経済学は講義形式で行う						
成績評価の方法と基準	修了試験として、ウィッグ制作を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	実習課題に関して、一度で身に付くものではないので、授業時に作成したカットのダイヤグラムを用いて、繰り返し反復練習を行う。						
実務経験に基づく授業内容	主担当の講師はサロンオーナーであり、サロン経営を行うとともに、自らもスタイリストとして現場の第一線で活躍している。老若男女さまざまなお客様のニーズに応えるためには基本理論・技術はもちろんのこと、日々変わっていく流行にも敏感に反応していかなければいけない。 学生に対しても基本理論・技術のみならず現場での最新の技術・知識の伝達を行い、卒業後の学生がすぐに現場に対応できるよう教育をしている。主に美容室のコンサルティングを本職にしており、これから美容業界に羽ばたいていく学生に対し経営方法について伝授していく。社員教育や管理についても現状を伝え指導。						
使用教材	カットウィッグ、カット用具一式、授業テキスト、資料、メイク道具一式、ヘアケアマイスターブック						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第1回	マーケティングとは	マーケティングの定義 ビジネスにおける「儲け」とはどうやって生まれるのか 感動とは何か 繁盛を実現するための経営姿勢（返報性の原理）					
第2回	お客様のファン化について	7種類のお客様 ファン化を促進させる2つのポイント 売上げのメカニズム お客様の生涯価値を獲得する					
第3回	期待するお客様の行動を生み出す	人は購買を感性で決め理性で正当化する 売れる！キャッチフレーズのつくり方					
第4回	繁盛を実現するサロンの仕組みづくり	お客様に選ばれる理由を明確にする～ブランド構築 お客様をファン化するさまざまな取り組み					
第5回	価値ある目標設定と達成シナリオのつくり方	夢を実現する価値ある目標設定法 「将来の夢・目標」を明確にする（※全員発表・提出）					総合評価テスト
第6回	サロン創りの事例紹介	10年、20年後の自分の姿をイメージする 独立開業時にサロンをイメージする					
第7回	サロン創りの全体説明	グループでサロンコンセプトをまとめ 店創りのベースをつくる。基本計画組立て					
第8回	サロンレイアウト器具選定	箱図の中にパズル形式でサロン全体のレイアウトをグループで構成、レイアウトに合わせてタカラベルモントの器具を選定して危機 予算を計算する					
第9回	事業計画	サロン全体の資金計画を算出、損益を成立させサロンコンセプト、 ポイントをまとめ発表の準備をする					
第10回	事業計画	サロン全体の資金計画を算出、損益を成立させサロンコンセプト、 ポイントをまとめ発表の準備をする					
第11回	発表	タカラベルモントショールームにてグループごとに サロン創り発表、その後ショールーム見学					
第12回	発表	タカラベルモントショールームにてグループごとに サロン創り発表、その後ショールーム見学					

2026年度 シラバス

科目名	マスター専攻	区分	選択	授業時数	210時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 上田 大野 奥田 尾崎 柏倉 加藤 瓦崎 東野 福森 藤井 吉川	実務経験	有			コース	マスターコース
学修内容	サロンワーク内のカットを中心とした理論および技術の習得 サロン経営学ならびに日本を含む世界経済を学ぶ経済学の知識の習得 サロン経営における実践マーケティングの基礎知識、毛髪化学およびカウンセリング、ヘアケア剤の知識習得とアイブロウ技術の習得、サロン現場で活躍できる人材の創出						
到達目標	カット、カラー、パーマ等サロンワークの技術を使用した自由制作、即役立つ売れるノウハウを身に付ける。 夢・目標を明確にする。ヘアケアマイスタープライマリー合格。						
授業の方法	カット技術を中心としたウィッグおよび人頭を使用した実習を行う 経営学、経済学は講義形式で行う						
成績評価の方法と基準	修了試験として、ウィッグ制作を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	実習課題に関して、一度で身に付くものではないので、授業時に作成したカットのダイヤグラムを用いて、繰り返し反復練習を行う。						
実務経験に基づく授業内容	主担当の講師はサロンオーナーであり、サロン経営を行うとともに、自らもスタイリストとして現場の第一線で活躍している。老若男女さまざまなお客様のニーズに応えるためには基本理論・技術はもちろんのこと、日々変わっていく流行にも敏感に反応していかなければいけない。 学生に対しても基本理論・技術のみならず現場での最新の技術・知識の伝達を行い、卒業後の学生がすぐに現場に対応できるよう教育をしている。主に美容室のコンサルティングを本職にしており、これから美容業界に羽ばたいていく学生に対し経営方法について伝授していく。社員教育や管理についても現状を伝え指導。						
使用教材	カットウィッグ、カット用具一式、授業テキスト、資料、メイク道具一式、ヘアケアマイスターブック						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第13回	序章～第一章毛髪化学	ヘアケアマイスター教科書を使用して、主題の解説					
第14回	第一章毛髪化学	ヘアケアマイスター教科書を使用して、主題の解説					
第15回	第二章毛髪のカウンセリング	ヘアケアマイスター教科書を使用して、主題の解説					
第16回	第三章ヘアケア剤	ヘアケアマイスター教科書を使用して、主題の解説					
第17回	復習	学習範囲の復習プリント					
第18回	復習	学習範囲の復習プリント					
第19回	復習	試験問題を想定した練習プリント					
第20回	復習	試験問題を想定した練習プリント					
第21回	復習	試験直前対策総復習					
第22回	試験	ヘアケアマイスタープライマリー試験					
第23回	アイブロウとは	上がり眉や下がり眉など眉の印象の変化について学ぶ 眉の名称 バランスの良い毛の流れ、描き方 アイブロウコスメの種類、眉に合わせた選び方、眉色の選び方					
第24回	描き方	前回授業の復習と共に確認 アイブロウ道具の商品名から使い方、手の動かし方 自眉にバランス良く自身で描いていく 眉のお手入れ方法（カットの仕方） アイブロウシザーズの持ち方、指の動かし方 安全に怪我がないよう手の甲や腕の毛でアイブロウカット練習					
第25回	アイブロウシザーズ &実技	前回授業の復習確認 デモンストレーションにてアイブロウを整え描いてみせる 相モデルで似合わせアイブロウ実技&話法確認					
第26回	似合わせアイブロウ	相手を変えてシザーズ&似合わせ実技&話法					
第27回	最終アイブロウ	右眉にクールな眉実技&左眉にキュートな眉実技 話法確認					
第28回	最終アイブロウ	右眉にクールな眉実技&左眉にキュートな眉実技 話法確認					
第29回	経済学	世界情勢に関する講義					

2026年度 シラバス

科目名	マスター専攻	区分	選択	授業時数	210時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 上田 大野 奥田 尾崎 柏倉 加藤 瓦崎 東野 福森 藤井 吉川	実務経験	有			コース	マスターコース
学修内容	サロンワーク内のカットを中心とした理論および技術の習得 サロン経営学ならびに日本を含む世界経済を学ぶ経済学の知識の習得 サロン経営における実践マーケティングの基礎知識、毛髪化学およびカウンセリング、ヘアケア剤の知識習得とアイブロー技術の習得、サロン現場で活躍できる人材の創出						
到達目標	カット、カラー、パーマ等サロンワークの技術を使用した自由制作、即役立つ売れるノウハウを身に付ける。 夢・目標を明確にする。ヘアケアマイスタープライマリー合格。						
授業の方法	カット技術を中心としたウィッグおよび人頭を使用した実習を行う 経営学、経済学は講義形式で行う						
成績評価の方法と基準	修了試験として、ウィッグ制作を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	実習課題に関して、一度で身に付くものではないので、授業時に作成したカットのダイヤグラムを用いて、繰り返し反復練習を行う。						
実務経験に基づく授業内容	主担当の講師はサロンオーナーであり、サロン経営を行うとともに、自らもスタイリストとして現場の第一線で活躍している。老若男女さまざまなお客様のニーズに応えるためには基本理論・技術はもちろんのこと、日々変わっていく流行にも敏感に反応していかなければいけない。 学生に対しても基本理論・技術のみならず現場での最新の技術・知識の伝達を行い、卒業後の学生がすぐに現場に対応できるよう教育をしている。主に美容室のコンサルティングを本職にしており、これから美容業界に羽ばたいていく学生に対し経営方法について伝授していく。社員教育や管理についても現状を伝え指導。						
使用教材	カットウィッグ、カット用具一式、授業テキスト、資料、メイク道具一式、ヘアケアマイスターブック						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第30回	経済学	世界情勢に関する講義					
第31回	サロン経営学	経験を通じて、サロン経営に関する講義					
第32回	サロン経営学	経験を通じて、サロン経営に関する講義					
第33回	サロン経営学	経験を通じて、サロン経営に関する講義					
第34～44回	修学内容の確認	サロン授業を行うにあたって、今後の修学内容の確認					
第45～54回	カット実習	ロングレイヤーテクニックの習得					
第55～63回	カット実習	ミディアムショートテクニックの習得					
第73～81回	カット実習	グラデーションボブテクニックの習得					
第82～90回	カット実習	ショートレイヤーテクニックの習得					
第100～109回	カット実習	刈り上げテクニックの習得					
第110～119回	カット実習	レイヤーテクニックを使用した自由制作					
第130～139回	カット実習	エクスターナルグラデーションテクニックの習得					
第140～149回	カット実習	インターナルグラデーションテクニックの習得					
第160～169回	カット実習	グラデーションテクニックを使用した自由制作					
第170～189回	カット実習	カラーの理論および基本から応用テクニックの習得					
第180～189回	カット実習	パーマ理論および巻き方によるデザインの考え方					
第200～210回	カット実習	カット、カラー、パーマを使用した自由制作					